



乳用牛群検定普及定着化事業

# 検 定 組 合

**牛群検定だより**

第1号(2004.11)

**発**

発行元：(社)家畜改良事業団 電子計算センター

〒107-0031 東京都中央区京橋1-19-8 大野ビル2F

Tel 03-3561-8191 FAX 03-3561-8166

e-mail : webmaster@laj.or.jp URL : http://laj.lin.go.jp



## 牛群検定は乳質改善の武器



### 岐阜県・飛騨酪農協の取り組み

岐阜県の北東部に高山市が開ける。この地に飛騨酪農協があり、プラントを稼働させて40年になる。ビン入り宅配を主に「おいしい飛騨牛乳」で販路を拡げてきた。現在日量20トン进行处理し、県内はもちろん中京、東海などへと着実にシェアを拡大している。



馬瀬口組合長

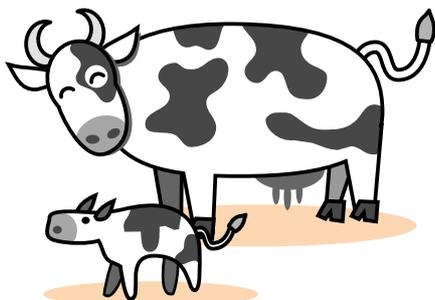
食の安全性が叫ばれるいま、生乳の品質管理を徹底させることが消費者の信頼を得る途。そのために検定成績表に示される体細胞数、バルク乳情報などをチェックしながら管内の乳質改善を図ってきたと馬瀬口組合長は語っておられた。

それを裏付けるのは管内の牛群検定実施率。農家率で84%、検定牛率で86%強の高い普及率を示し、組合挙げて真剣な取り組みが見られる。

今後ますます乳質が問われる時代、この酪農協では「良質乳生産の強力な武器」として牛群検定成績を活用している。(文責：M.S)



# 検 定 組 合 の 概 要



## D・A・T・A

事務局：〒506-0054 高山市岡本町4-326  
 飛騨酪農協内 TEL0577-32-0208  
 飛騨酪農乳用牛群検定組合 組合長 足立憲一さん

## 酪農家が豊かになって欲しい

### 牛群検定の実施概要

酪農家戸数	38戸
検定農家数	32戸
加入農家率	84.2%
経産牛頭数	1,430頭
検定牛頭数	1,232頭
加入経産率	86.2%
専任検定員	4名

- 当組合でも、酪農家が年々減って38戸になった。現在残っている酪農家はエリート集団で、今後離脱者が少ないと思われるが何とか現状を維持していきたい。幸い、当組合の酪農家は一丸となって協力し合っているのが強みである。
- 検定立会は、組合のルーチンワークをこなしながら私を含めて組合職員3名が9～10戸ずつを受け持って実施。他に下呂営業所に検定員1名駐在。



飛騨酪農協



プラント

- 正直言って目の回るような忙しさであるが、組合員の減少に歯止めをかけたい、良い乳を生産して酪農家が豊かになって欲しいと念じて検定員は日夜頑張っている。多くの手間暇とカネをかけた検定記録、これを有効に活用しなければ勿体ない話。(酪農協・部長談)



上田酪農部長



# 検 定 組 合 の 活 動

仲間を減らさないために

## 同志の励まし合いが必要



- 酪農仲間・検定仲間を減らさないためには、先ず目に見える形で「儲け」を出すこと。「儲からない経営」には、損をするだけの理由が必ずある。その理由は、自群の牛群検定記録の分析でつかめる。

- もっと大事なのは、仲間を孤立させないよう同志の励まし合いが必要なことである。具体的には、仲間がそろって牛群検定を受けて勉強会を持つこと。お互い検定成績表を持ち寄って、チェックし合うことで自群の改善点が見えてくる。これが切磋琢磨につながる。



成績表を持ち寄って勉強会

- 講習会時には、足立検定組合長宅に仲間が集まって和気あいの勉強会が持たれた。儲かる酪農集団づくりを目指す組合長は、リーダーシップを発揮して「仲間づくり」に熱心に取り組み、地域酪農を盛り上げている。いま、こうした行動派のリードマンが求められている。



乳牛談義に話は尽きない



検定組合長とフリーバーン牛舎



# カウ・コンフォート (乳牛の快適性)



- 以前から言われてきた言葉で、ホードは「酪農家は乳牛に恐怖心や不快感を与えないように忍耐と優しさを持って接すること」を提唱している。
  - ・乳牛との信頼関係を築くことは、牛群管理の基本中の基本。
- 優しい扱いは手荒な扱いに比べて、乳量が多いことは経験則で分かっていたが、家畜行動学ではそれが証明されつつある。
  - ・快適性は、健康状態や繁殖成績にも好ましい影響を及ぼす。
- 快適性には換気、牛床、飼(水)槽、暑熱対策、搾乳システム、エサ給与の方法や内容などが多岐にわたって関与している。
  - ・牛舎環境などを総合的に点検して、ストレスをできるだけ軽減しよう!!

換 気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンモニア臭や空気の澁みは？(換気が良いとクモの巣は張らない)</li> <li>・口を開けて呼吸している牛がいないか、暑熱対策はできているか？</li> </ul>
牛 床	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝起きが楽にでき、清潔で乾燥し、デコボコがなく、滑らないか？</li> <li>・横臥時間は乳量と関係し、快適な牛床なら横臥率は20%以上増す</li> <li>・横臥は10時間/日以上、採食時除き牛群の80%以上が寝ているか？</li> <li>・牛床や給水施設を改善して、乳量増を図った酪農家が多く見られる</li> </ul>
飼 槽 水 槽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼槽表面はコーティングして、細菌やカビの発生を防いでいるか？</li> <li>・密飼いは、弱い牛の採食や反芻の時間を減少させて代謝障害を来す</li> <li>・牛の強弱により採食パターンが違う、かため食いをしていないか？</li> <li>・水は自由に十分飲める施設で臭い、ぬめり、腐敗菌の汚染がないか？</li> </ul>



検定組合長のフリーバーン、舎外の猛暑を感じさせない涼しさ